

咳嗽と筋痙攣

麦門冬湯が有用な呼吸疾患に伴う咳嗽

○藤森勝也¹⁾，鈴木栄一²⁾，下条文武²⁾

新潟県立新発田病院内科¹⁾，新潟大学大学院医歯学総合研究科内部環境医学講座²⁾

はじめに

麦門冬湯が有用な呼吸器疾患に伴う咳嗽として，かぜ症候群後咳嗽，咳喘息に代表される気管支喘息の咳嗽，間質性肺疾患の咳嗽などがある。

漢方薬は，随証治療であり，本来個々の症例の陰陽，虚实，表裏，寒熱などに合わせて「証」が決定されている。西洋医学の症候群のなかには，一定の「証」を示す場合があると考えられ，このような場合には，その方剤(「証」)が，症候群集団の中で一定の効果を示すと考えられる。

加えて，方剤の中には，in vitroにおいて薬効がかなり判明しているものもあり，西洋薬と同じような感覚で使用できるものもあると考える。

かぜ症候群後咳嗽

1995年に私たちがこの疾患概念を報告した。かぜ症候群のあとから長く続く乾性咳嗽で，中高年の女性によくみられる。漢方医学的には，虚実中間証から虚証で，気(気逆)と水(水の枯渇)の異常がみられる。咳嗽発生機序は解明されていないが，喀痰中に好酸球は増加しておらず，カプサイシン咳感受性は亢進しており，気道過敏性は亢進していない。気道感染によるneutral endopeptidase(NEP)活性低下が示唆されている。

麦門冬湯の薬理作用

気管支炎モデルモットを使った実験で，麦門冬湯はNEP活性低下抑制作用が報告されている。麦門冬湯には，市販西洋薬にない薬効があり，代用薬は今のところないと思われる。

かぜ症候群後咳嗽と麦門冬湯

私たちの成績を示す。かぜ症候群後2週間以上咳嗽が続く25例(かぜ症候群後咳嗽)に対し，12例は中枢性鎮咳薬の臭化水素酸デキストロメトルファン単独で治療し，13例は麦門冬湯単独で治療した。咳日記で2群間の咳嗽抑制効果を比較検討した。両群とも有意な咳嗽抑制効果が認められたが，麦門冬湯は，臭化水素酸デキストロメトルファンに比し，早期に咳嗽抑制効果がみられた。重大な副作用は認めなかった。さらに，より高齢な症例ほど咳嗽が減少しやすかった。

別の成績を示す。かぜ症候群後咳嗽18例に，麦門冬湯，オキサトミド，臭化水素酸デキストロメトルファンの3剤併用療法を行った。咳日記で評価した1週間後の咳嗽消失率は50%で，非常に有効であった。

麦門冬湯と咳喘息，間質性肺疾患に伴う咳嗽，ACE阻害薬による咳嗽

麦門冬湯は，咳喘息の一部，気管支喘息の一部，間質性肺疾患の一部，ACE阻害薬による咳嗽にも有用である。

まとめ

薬効が比較的はっきりし，ある集団に一定以上の効果をあげられる方剤は，現時点でそれほど多くはない。麦門冬湯は，かぜ症候群後乾性咳嗽に有用で，西洋医学的思考方で処方でき，今のところ代用薬はないと考えている。